

伝える！ つなげる！ ゴースマイル！

宮小宮の丘

教育目標

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>
〇かしこい子 〇たくましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

令和7年度学校だより
八王子市立小宮小学校
発行責任者
校長 山北 雅史
令和8年3月1日発行
第12号

やわらかい気持ちで

校長 山北 雅史

「八王子は氷点下4度となる見込みです」と前日の天気予報が告げていた通り、連休明けのその朝はものすごく冷え込みました。週末久し振りの降雪で心配だった坂道にはさほど雪はなく、ほっとした反面、晴天となったためか放射冷却によって高台の学校は予報以上に気温が下がっていました。手元の寒暖計は氷点下7度を示しています。出勤後すぐに校舎内外を点検します。同じく積雪を心配し、早めに出勤していた副校長先生が「北門の扉が凍結して全然開かなくなっています」と報告してくれました。急いで駆けつけると横にスライドするはずの車輪に、昨日溶けたであろう雪解け水が、朝の冷気で凍り付いて固まっており、力づくに動かそうとしてもびくとも動きません。だんだん集まってくる職員たちが知恵を出し合って対応します。ドライバーやハンマーで氷を削ったり叩いたり、給食室でお湯を沸かしてかけたり、結構な時間が経ちました。もうすぐ早い子どもたちが登校してくる時刻となります。「子どもたちを南門に誘導しなくてはならないかな」と話し始めた時、ようやくどうにか門が開きました。ふと後ろを振り向けば、他にもたくさんの職員がスコップを片手に声掛け合って昇降口前の雪かきをしています。思ったより積雪がなかったとはいえ、北向きの校庭に面した日の当たらない昇降口前には凍り付いた雪があります。もし子どもたちが滑ったら大変です。その様子を見て、私は本当にありがたいと思いました。私も副校長先生も北門の扉と戦っており、職員に指示を出せるような状況ではありませんでしたから、こちらの指示不足を補って、いざという時の臨機応変な動きをしてくれる職員たちに感謝した瞬間でした。ちょっとしたことかもしれませんが、手前味噌ながら、いい仕事仲間だなと思いました。寒い朝の空気が幾分温かく感じました。

さて今年度も残りわずかとなりました。今のクラスで過ごす日々も数えるほどです。もちろん6年生は新たな世界へと進んでいきます。人は生きていく中でたくさんの選択をしながら人と巡り合い、かかわりをもちながら生きていきます。それは学校生活の中でも、仕事を通してでも、あらゆる場面で言えることです。その中には気が合う人もいれば、そうでない人もいます。すべてのことを、全く同じように感じるなんてことはありません。それぞれが個々の感性をもったオンリーワンだから当然のことです。でもいざという時に(いつもでなくてもいいのです)、相手を気遣い、心に折り合いをつけて、共通の思いをもって柔軟に課題や困難に立ち向かうことができる仲間となれたら素敵ですよ。小宮小の子どもたちも、これからたくさんの人と人生を過ごしていくこととなります。自分らしさを大切にしながらも、やわらかい気持ちで相手を受け容れることができる、そんな仲間と巡り合うことを祈っています。この1年、小宮小学校に多大なるご支援をいただき、本当にありがとうございました。教職員一同、心より感謝申し上げます。次年度も引き続きよろしく願いいたします。

